

第3回大津町振興総合計画等評価委員会資料

目次

2	力強く自立した農工商併進のまちづくり			頁
2-4-2	工業用水道の安定供給と公営企業の運営	工業用水道課		1
4	魅力的で快適な生活環境づくり			
4-1	土地利用と都市計画の推進			
4-1-1	秩序ある計画的土地利用の推進	土木部	都市計画課	4
4-2	地球環境との共生			
4-2-1	自然環境の保全と活用	土木部	環境保全課	6
4-2-2	水資源の保全と活用	土木部	環境保全課	9
4-2-3	資源循環型社会の形成	土木部	環境保全課	12
4-2-4	公害の防止と地球環境保全の促進	土木部	環境保全課	15
4-3	道路網の整備			
4-3-1	生活道路の整備・改善	土木部	道路整備課	18
4-3-2	幹線道路網の整備	土木部	道路整備課	21
4-3-3	農林道の整備	土木部	道路整備課	24
4-3-4	都市計画道路の整備	土木部	都市計画課	27
4-4	公共交通の維持			
4-4-1	駅周辺の交通システムの整備	土木部	都市計画課	30
4-6	住宅の整備			
4-6-1	公営住宅の整備	土木部	都市計画課	33
4-7	上下水道の整備			
4-7-1	上水道の整備	土木部	環境保全課	36
4-7-2	下水道の整備	土木部	下水道課	38

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 4 - 2	工業用水道の安定供給と公営企業の運営		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	工業用水道課
施策	2 - 4	工業の振興	担当者	谷口 隆二

基本事業を取り巻く現況と課題

現在、3ヶ所の水源地をもって日量4,000トンの給水体制で、9事業所に日量3,760トンの契約に基づき給水を行っています。景気悪化により工業用水の使用量が減少すると、工業用水道事業の歳入減につながり、赤字になれば大津町の一般会計からの繰り入れが必要になってきますので、今後も企業動向を注視し、安定供給を続けていく必要があります。

基本事業の目標

使用水量が増加し、安定供給を継続すること

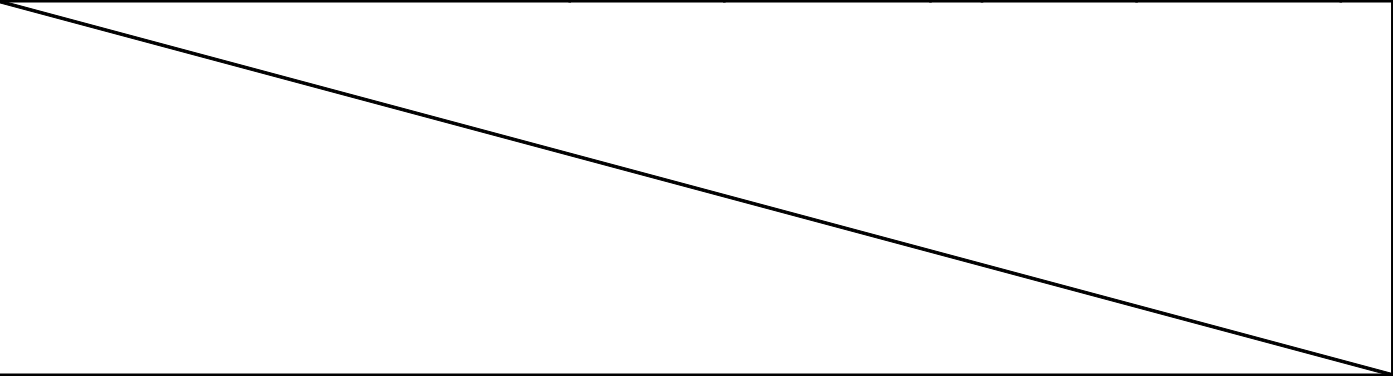
構成事務事業

事務事業名	・工業用水道事業の安定供給と水資源の確保			
-------	----------------------	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
48,419 千円	0 千円	59,896 千円	0 千円	0 千円	59,896 千円	0 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	工業用水道の日給水量	目標値	単位:トン					
		実績値	3,000	3,140	3,550	3760		平成24年度末時点での契約は、目標値を達成しているが、契約の7割近くを1社が占めているため、今後も企業動向を注視していく。
		達成度	100.0%	89.7%	100.0%	100.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 リーマンショック以降の企業業績の悪化に伴い、平成20年度、21年度と年間給水量が大幅に減少していたが、本年度決算は過去最高だった平成19年度に次ぐ営業収益まで回復してきている。現在能力4,000トン/日の8割以上を利用しているが、契約水量の7割近くが1社によるものであり、新たな投資には慎重を期す必要がある。	『今後の課題と取り組み方針』 安定供給のためには施設の増設も必要だが、7割近くを1社が使用しているため、万が一撤退した場合には過剰投資となり、赤字が予想される。緊急時における協定を大津菊陽水道企業団と締結しており、工業用水道が安定供給できるよう、体制を整えている。また、平成2年から給水を行っている各種設備については、経年による劣化が進んでおり、メンテナンス計画を策定し、適宜、機器更新を実施していく必要がある。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-4-2	大津町工業用水道事業	工業用 水道課	熊本中核工業団地内の企業(9社)に対して、工場等で使用する水を供給している。	59,896
				59,896

平成25年度 基本事業評価調査書

基本事業名	4 - 1 - 1	秩序ある計画的土地利用の推進		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 1	土地利用と都市計画の推進	担当者	中原 均

当町は都市化・工業化は用途地域内で発展していますが、近年農地等から宅地への転用が多く、工業地域や農業施設に隣接して宅地開発が行われるなど、インフラ整備が遅れている地域への宅地化が進んでいます。そのため、騒音、臭いなどの苦情や下水道、道路改良などの整備が急務となっています。こうした状況に対応するため土地利用規制のあり方について他法令による規制を参考にしながら取り組むとともに計画的な都市づくりを推進する必要があります。

昭和50年に町全域が都市計画区域に指定され、平成21年度に用途の見直しを行い902haの用途地域の決定がなされていますが、用途地域に含まれない地域や、農用地区域からも外れる規制のゆるい区域への宅地開発等が進んでいます。

基本事業の目標

計画的な土地利用により、当町の特性にふさわしい発展が図られている。

構成事務事業

事務事業名	- 開発指導要綱に基づく指導業務 - 都市計画基礎調査策定業務			
-------	--	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
3,717 千円	1,859 千円	0 千円	千円	千円	千円	千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	開発指導要綱に基づく指導の割合	目標値	単位:%					
		実績値	95	96	100	100		平成23年度は一部に用途地域に含まれない開発が行われているため96%とした。
		達成度	100%	96.0%	100.0%	100.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 概ね開発指導要綱に沿って開発が行われている。	『今後の課題と取り組み方針』 アパート建設において建築自体は法的に問題は無くとも、近隣住民とのトラブル（騒音、振動、日照問題）が起きている。着工前に区長をはじめとした地元住民の方との説明、いろんな問題が発生する事を想定したきめ細やかな指導が不可欠となっている。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
町内全域が都市計画区域に指定されており、一定規模以上であれば都市計画法による開発許可を受ける必要があり、一定規模未満であっても、概ね町の開発指導要綱により開発が行われている。ただし、線引きが無くあくまでも要綱であるため規制が緩やかであり、いたる所で開発が乱立する事がある。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 2 - 1	自然環境の保全と活用		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	環境保全課
施策	4 - 2	地球環境との共生	担当者	保々 英樹

基本事業を取り巻く現況と課題				
今世紀最大の環境問題ともいわれている地球温暖化がこのまま進めば、海面水位の上昇（水没危機）、異常気象の増加（豪雨や干ばつ）、穀物生産の減少（食糧危機）、生態系への影響など、町民の生活はもとより人類の存続自体を脅かす事態が危惧されます。 都市化の進展や生活様式の多様化などにより、地下水や豊かな緑などの自然環境が少しずつ損なわれつつあります。また、地球温暖化対策は世界規模で取り組むべき大きな社会問題となっています。				

基本事業の目標				
豊かな自然環境に囲まれながら生活することができる。				

構成事務事業						
事務事業名	・環境保全協定の締結と適切な運用管理の推進 ・住宅用太陽光発電システム設置補助制度					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
3,274 千円	3,274 千円	3,750 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,750 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	地球温暖化防止のための行動を3つ以上している人の割合	目標値	単位:%					80.0	
		実績値	75.4	76.6	78.8	82.5			地球温暖化防止のための行動がより活発になるような啓発に努めていく。
		達成度	94.3%	95.8%	98.5%	100.0%			
成果指標②	太陽光発電システム設置率	目標値	単位:%					10.0	設置率は順調に推移しており、県平均値よりも高い。
		実績値	6.3	7.0	8.65	9.5			
		達成度	63.0%	70.0%	80.7%	95.0%			
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	A	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 地球温暖化対策の一環として太陽光発電の普及に取り組んでいます。 東日本大震災後、再生可能エネルギーの重要性が大きく見直され、代表的な再生可能エネルギーである太陽光発電に対する住民の関心の高まっており、順調な設置率の伸びにつながっているものと思われます。このまま順調に推移していくと考えています。	『今後の課題と取り組み方針』 国・県と併せて町の補助制度があることで、高額な設置費用が必要な太陽光発電システムの設置推進について効果が大きいと考えているので、今後も継続して取り組む考えです。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	A	方向性	A・B・C・D・E	B
太陽光発電システムの設置補助については、喫緊の世界的な問題となっている地球温暖化の抑止策として有効である。現時点において、システム設置には多額の費用負担が必要であり、当面は設置率向上の有効策として補助制度を継続するべきであると考えています。ただし、国の補助額も減額される方向にあるので、状況を注視していく必要があります。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-2-1	漁業振興補助金(白川漁協)	商業観光課	白川漁業協同組合事業の繁殖放流事業を積極的に推進するため、補助金を交付する。	350
4-2-1	漁業振興補助金(菊池川漁協)	商業観光課	菊池川漁業協同組合事業の繁殖放流事業を積極的に推進するため、補助金を交付する。	40
4-2-1	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	環境保全課	住宅用太陽光発電システムの設置費の補助を行い、太陽光発電の普及を図る。	3,750
				4,140

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 2 - 2	水資源の保全と活用		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	環境保全課
施策	4 - 2	地球環境との共生	担当者	保々 英樹

基本事業を取り巻く現況と課題				
大津町は、水道水源を湧水と深井戸に依存しているため、地下水が減少したり汚染されれば、町民は健康かつ文化的な生活を営むことができません。 町民の生活と産業活動に欠かすことのできない豊かな水資源を保全するため、地下水保全・涵養や河川水等の浄化に取り組んでいます。				

基本事業の目標				
豊富な水量と良好な水質により、安心して生活や産業活動を行うことができる。				

構成事務事業				
事務事業名	・広葉樹の森、環境の森等の植林及び天然林等の整備 ・白川中流域の水田湛水事業 ・雨水浸透柵設置補助事業 ・し尿の適正処理 ・合併浄化槽設置補助事業 ・河川水質検査の実施			
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳	
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債
110,950 千円	108,697 千円	109,563 千円	2,300 千円	0 千円
			その他	一般財源
			150 千円	107,113 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	水不足による断水、節水及び水道水汚染事故件数	目標値	単位:件					0	公益財団法人くまもと地下水財団の取り組みに協力しながら水環境の保全に努めていく。
		実績値	0	0	0	0			
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
成果指標②	河川BOD基準達成力所数	目標値	単位:カ所					10	BODとは、水質汚濁の程度を示す指標（微生物が有機物を分解するために必要な酸素量）。
		実績値	9	7	8	10			
		達成度	100.0%	70.0%	80.0%	100.0%			
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 平成23年度の河川水質検査ではBODの基準値の超過箇所が2箇所ありましたが、24年度の検査では基準超過はありませんでした。汚染状況を見守るため、今後も継続的な監視が必要と考えています。	『今後の課題と取り組み方針』 地下水問題は、関係する地域が広範囲に及ぶことから、一体的かつ広域的な取り組みが必要であり、その推進母体となる「公益財団法人くまもと地下水財団」が平成24年4月に設立されました。財団の活動に協力しながら地下水涵養や水質保全対策をより効果的に推進していきます。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
熊本地域全体での地下水保全対策を目的として、平成24年4月に設立された「公益財団法人くまもと地下水財団」では、地下水の量、水質等の現状把握や涵養対策、地下水採取量の適正化の推進等、地下水保全全般にわたる事業が計画されており、熊本地域の地下水保全に大きく貢献するものと考えています。また、今後も、企業等の協力をいただきながら瀬田裏原野や俵山に植林された樹木の手入れなどを継続していくとともに、住民に対して取り組み状況を知らせることも大切です。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■水路の投棄ゴミの対応 灰塚地区の水路のゴミ投棄について役場に連絡して2～3週間になるが、その後の対応や結果の連絡がなく、誠実に対応されていない。 ⇒区長さん、農政課、土地改良区などと連携しながら対応していきたい。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-2-2	合併浄化槽設置事業	環境保 全課	公共下水道事業計画区域外、農業集落排水施設の計画区域外の住宅について、合併処理浄化槽設置費の一部	3,509
4-2-2	雨水浸透ます設置事業	環境保 全課	家庭用雨水浸透ます設置者に対して設置費用の一部補助を行う。(1基10,000円、限度額40,000円、4基まで)。	150
4-2-2	菊池広域連合負担事業 【し尿】	環境保 全課	し尿処理を広域で行う菊池広域連合(一部事務組合)に対して運営費の一部を負担する(平成17年8月から菊池広域連合の運営開始)。	93,646
4-2-2	し尿運搬調整補助事業	環境保 全課	し尿処理施設が遠隔地であるため、し尿および浄化槽汚泥運搬に対して運搬業者に運搬費用の一部を助成する。	12,108
				109,413

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 2 - 3	資源循環型社会の形成		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	環境保全課
施策	4 - 2	地球環境との共生	担当者	

基本事業を取り巻く現況と課題				
可燃性ごみを焼却する時には、二酸化炭素やダイオキシンが発生し、地球温暖化や大気汚染など環境に悪影響を与えます。また、ごみが増えれば処理費用の町民負担も大きくなります。 大量生産・大量消費・大量廃棄の社会が見直され、近年は地球環境の保全に対する関心が高まり、ごみの減量化やリサイクルの必要性も広く認識されてきています。人口は増加しているが、ごみの排出量は、ここ数年は横ばいで推移している状況です。				

基本事業の目標				
ごみが少ない環境にやさしいリサイクル社会となる。				

構成事務事業				
事務事業名	・ごみ減量化と資源物リサイクルの推進 ・地域環境美化活動の推進 ・出前講座やごみ分別説明会による環境問題等啓発の推進			

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
339,551 千円	294,308 千円	286,361 千円	0 千円	0 千円	40,344 千円	246,017 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	町民1人当りの年間ごみ排出量	目標値	単位:kg					177	
		実績値	183	181	183	183			
		達成度	96.7%	97.8%	96.7%	96.7%			
成果指標②	資源リサイクル率	目標値	単位:%					14.0	資源リサイクル率は下降傾向にあり、さらなる分別の徹底、再生資源集団回収の活性化等に取り組む必要がある。
		実績値	13.8	13.6	12.9	12.2			
		達成度	98.6%	97.1%	92.0%	87.1%			
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 人口増加に伴いごみ排出量が増加している中、一人当たりのごみの排出量は横ばい状態、資源リサイクル率は下降傾向であるため、さらなるごみの減量化、再資源化を図っていく必要があります。	『今後の課題と取り組み方針』 一人当たりのごみ排出量を抑制するため、①4Rの推進、②分別の徹底、③生ごみの排出抑制の3点について、特に重点的に取り組んでいきます。加えて、資源リサイクル率向上のため、再生資源集団回収の活性化に取り組めます。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	A
ごみの減量化と再資源化への取り組みについては、環境的な面だけではなく、ごみ処理には高額な経費が必要であるため、財政的な面からも必要な事業です。特に、再生資源集団回収の取り組みはリサイクル推進をする上で非常に効果的です。活動団体の増加に向けた取り組みを行う必要があります。今後も啓発を中心として減量化と再資源化に積極的に取り組んでいきます。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-2-3	菊池環境保全組合負担事業	環境保全課	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、一般廃棄物の処理業務を近隣2市2町で構成する一部事務組合(菊池環境保全組合)で実施する。	185,744
4-2-3	ごみ収集運搬業務委託事業	環境保全課	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬業務委託。	68,695
4-2-3	一般廃棄物処理事業	環境保全課	一般廃棄物の発生抑制・減量化を目指し、分別回収の徹底を図り資源物のリサイクルを推進する。	23,731
4-2-3	ごみ減量化、資源化事業	環境保全課	再生資源集団回収団体の活動支援や生ごみ処理機の購入補助等を行うことで、ごみの減量化、資源化を推進す	7,099
4-2-3	グリーンリサイクル事業	環境保全課	樹木の剪定小枝等をチップ状態にし、リサイクル資源として活用する。	1,092
				286,361

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 2 - 4	公害の防止と地球環境保全の促進		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	環境保全課
施策	4 - 2	地球環境との共生	担当者	保々 英樹

基本事業を取り巻く現況と課題				
公害苦情（騒音、振動、悪臭）をはじめ、不法投棄や近隣トラブルの問題など、多種多様の苦情や相談が多く、平穏な生活ができない場合もあります。 平成21年度の苦情件数は203件で、前年度から72件増加しており、とりわけ、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化等が原因と見られる「都市生活型公害」が増加しています。				

基本事業の目標				
公害の苦情や相談がなく快適な生活環境である。				

構成事務事業				
事務事業名	- 環境保全協定の締結の推進 - 各種公害等苦情に対する適正な処理			

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
1,965 千円	421 千円	2,332 千円	0 千円	0 千円	1,529 千円	803 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	環境に関する苦情や相談の件数	目標値	単位:件					130	地域内のコミュニケーションの希薄化が一因と思われるトラブルによる苦情も目立つ。今後も啓発を中心とした公害苦情等の発生の抑制に努めていく。
		実績値	203	125	165	175			
		達成度	64.0%	100.0%	79.0%	74.3%			
成果指標②		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 環境や衛生に関する苦情・相談は多く、苦情件数は平成24年度は前年より10件増加しています。とりわけ、屋外焼却が多く発生しており、啓発強化の必要があります。また、工場等の事業活動に対する苦情については、企業の環境意識の高揚により減少傾向にあります。	『今後の課題と取り組み方針』 公害等に関する相談や苦情については、個人差が大きく、原因者側が法令等を遵守していても被害を訴えるケースもあり、対応に苦慮することもあります。また、苦情内容は、不法投棄、騒音、振動、悪臭、ペット、民々のトラブル等、多種多様ですが、基本的には「近隣に迷惑をかけない」という個人個人のモラルが守られていれば問題が発生しないケースも多いと思われ、個人のモラルに委ねる部分が多いことも課題です。 今後も関係機関と連携しながら、適正かつ迅速な対応を行っていきます。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
騒音、振動、悪臭、ペット問題等、苦情や相談は全てが住民の生活に密接に関係している問題であり、住民の暮らしを守るため、関係機関（保健所、警察等）との連携を強化しながら、今後も迅速かつ適切な対応を行っていく必要があります。特に、早めに対応することは、問題を大きくしないようにするために重要であると考えています。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-2-4	狂犬病予防事業	環境保 全課	狂犬病予防法に基づき畜犬登録及び狂犬病の予防注射を実施するとともに、野犬の増加防止のため、畜犬の避妊・去勢手術の助成を行い、狂犬病の発生を予防する。	1,359
4-2-4	水質等分析調査事業	環境保 全課	町内の河川、湧水等の水質調査を実施する。	150
4-2-4	環境衛生事業	環境保 全課	各種公害等(騒音・振動・悪臭)の防止及び公害等発生時における適正な対応。	973
				2,482

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 1	生活道路の整備・改善		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	清水和己

基本事業を取り巻く現況と課題				
昭和の町村合併から50数年となり、現在、町道認定をした路線数は400を超え、総延長270,000m、その中に構築されている橋梁が151橋、路面舗装もコンクリート及びアスファルトで進め管理延長の約90%の舗装が完了しています。しかし、今後も新設道路と既存道路の拡幅改良など整備要望があるなかで、老朽化する橋梁と舗装の補修が増加しています。 また、道路沿線の除草、街路樹の管理について大部分を地域の区役に依存しているが、地域の状況により除草管理が行われない道路区間が増加する傾向にあります。 道路を造ることを重点に進めてきた方向から、維持補修等の管理を重点にする転換期だと思われますが、国の補助（交付金）事業は維持管理に対する助成が少なく、一般財源だけでは老朽化した舗装の補修を計画的に進めることが出来ません。そのため、路面に亀裂、舗装の剥れが発生する路線が増加しており、白線等の路面表示も消えて通行の安全性確保が出来ていません。				

基本事業の目標				
道路整備と道路維持を両立させながら、歩行者と車両が安全に通行できる道づくりができています。				

構成事務事業						
事務事業名	・社会資本整備事業に基づく道路新設事業 ・道路改良事業 ・道路補修事業 ・橋梁長寿命化事業 ・交通安全施設整備事業					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	その内 一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
138,739 千円	86,010 千円	168,577 千円	48,831 千円	34,900 千円	2,001 千円	82,845 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	道路の新設・改良の整備率	目標値	単位:%					用地買収の際の条件等により整備が遅れて事業期間が長くなる。
		実績値	50	55	57	58		
		達成度	81.4	78.6%	81.4%	82.9%		
成果指標②	老朽化した舗装の補修整備率	目標値	単位:%					舗装の補修は町道だけでも475路線、270kmあり、整備が追いつかない。
		実績値	30	30	35	37		
		達成度	70	60.0%	70.0%	74.0%		
成果指標③	橋梁の長寿命化対策の実施率	目標値	単位:基					本年度、橋梁長寿命化修繕計画策定業務を発注し対応する。
		実績値	0	0	0	132		
		達成度	0	0.0%	0.0%	100.0%		
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 道路の維持補修、改良については住民の要望も多く、その優先順位の決定方法や計画的な予算の確保を要する。	『今後の課題と取り組み方針』 ・老朽化した舗装の補修整備について、応急的なものは職員で対処できるが、要望も増え、大掛かりな補修も予想されるため予算を確保したい。 ・橋梁の長寿命化修繕計画について、健全度の低い橋梁について随時詳細点検をしていく。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
○400を超える路線数の町道を抱え、また権限移譲により多くの里道の管理も必要になっており、街路樹の管理だけでなく、除草等の維持管理の費用も年々増加している。このような中、構築されていた道路が耐用年数を迎えて、今後は橋梁の改築、舗装の補修などの事業費の大幅な増加が予想される。 ○道路の拡幅・改良整備は引き続き要望があると考えているが、維持管理費用が増加している中では、道路事業費の総額の増は難しいと思われるので、通学路の安全性や危険箇所など緊急性を判断して、事業を実施することが必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■通学路の安全確保 通学路における子供たちの安全が確保できる施策を考えて早急に対策をお願いしたい。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-3-1	町道管理事業	道路整備課	生活道路・通学路として安全に通行できる状態を維持する。	99,434
4-3-1	町道八迫線道路改良事業	道路整備課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	12,500
4-3-1	町道西前原線道路改良事業	道路整備課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保し、利便性の向上を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	12,692
4-3-1	町道岩坂南2号線道路改良事業	道路整備課	本路線は岩坂地区の南側を新設する道路で、県道岩坂陣内線と町道切畑線坂坂線を連絡する道路で、現在の県道が狭く渋滞解消と通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	50,650
4-3-1	一般公共(町道改良事業:部分改良)	道路整備課	町道等に関する要望調査や評価調書に基づき、離合箇所設置や交差点の改良を行い、生活路線の安全確保を	26,324
4-3-1	平川河川改修事業	道路整備課	平川の護岸整備を行い、その後は治山事業、農業災害復旧事業へと役立てる	23,584
4-3-1	町道大林57号線道路改良事業	道路整備課	本路線は幅員が狭く、事業により拡幅改良を行うことにより通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	12,300
4-3-1	町道杉水水迫線道路改良事業	道路整備課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保し利便性の向上を図るもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	3,000
4-3-1	町道後迫前田線道路改良事業	道路整備課	本路線の幅員で一部区間の拡幅改良を行うことにより、通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	14,180
4-3-1	町道瀬田駅吹田線道路改良事業	道路整備課	本路線は幅員が狭く、拡幅改良を行うことにより通行の安全性を確保するもので、生活環境基盤の整備を図るために非常に有効な事業である。	25,642
4-3-1	道路台帳整備	道路整備課	町道に関する調書・図面を作成する。道路法第28条によって作成が義務づけられている。道路行政にとって最も基本的な資料である	3,018
4-3-1	町道灰塚室線	道路整備課	本路線は離合も困難であるが、近隣の住居が増えて通行量は増加している。一部拡幅し、利便性を高める。	3,000
4-3-1	町道老人ホーム線	道路整備課	本路線は幅員が狭く、過去には交通事故も発生している。通行の安全性を確保し、生活環境基盤の整備を図るために有効な事業である。	3,000
4-3-1	町道美咲野大津線道路改良事業(鶴口橋)	道路整備課	本路線は町中心部と北部を結ぶ幹線道路であるが、橋梁と道路の形状から車両の通行に危険な区間である。橋梁も老朽化しているため、架け替えと視距を確保するための改良を行い、通行の安全性を確保する。	17,000
				306,324

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 2	幹線道路網の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	西岡 多津朗

基本事業を取り巻く現況と課題				
当町の地理条件として熊本～阿蘇を結ぶ東西道路整備が進み南北道路整備が遅れていたが、近年は、県道矢護川大津線、山西大津線、熊本大津線等の改良が進み南北の道路整備も進んで来ています。しかし、集落内を通る部分については移転補償費等による事業費が高くなることと、用地の解決に時間がかかりすぎる等の問題からバイパス案の検討がなされています。 国道57号の四車線化も南阿蘇村までの計画が確定し用地交渉にも着手していますが、国道443号の空港アクセス道拡幅は未定の現状です。 整備主体が、国・県となるため事業要望を重点的に行う必要があります。また、計画を推進するためには地域の理解と協力が欠かせません。				

基本事業の目標				
町村間、幹線道路間の道路を整備し、道路網の形成を進めることにより交通渋滞を緩和し、産業の振興等地域の活性化を図る。				

構成事務事業				
事務事業名	・国道57号四車線化事業 ・県道バイパス計画事業 ・県道部分改良事業 ・中九州・地域高規格道路事業			
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳	
総事業費	11,726 千円		国県補助金	起債
地方交付金	1,626 千円	15,500 千円	千円	15,200 千円
			その他	一般財源
			千円	300 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	国道57号四車線化の整備延長	目標値	単位:km					9.1	平成22年度に立野拡幅区間の2工区、3工区の四車線化供用開始がなされた。現在平成26年度供用開始を目指して立野拡幅4工区、瀬田拡幅1工区の2.5kmの整備を行っている。
		実績値	5.4	5.4	5.4	5.4			
		達成度	59.3%	59.3%	59.3%	59.3%			
成果指標②	県道改良、拡幅事業及び砂防事業の着手カ所数	目標値	単位:カ所					12	県道熊本矢護川線は平成26年度事業完了を目指している。平成24年度の洪水により平川、矢護川の整備を行っている。
		実績値	4	4	4	7			
		達成度	33.3%	33.3%	33.3%	58.3%			
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 国道57号は阿蘇大津ゴルフ場までが平成26年度供用開始予定であり、現在着々と工事が進んでいる。しかし瀬田拡幅区間においては用地買収が難航している区間がある。県道改良、拡幅事業及び砂防事業においては単県要望等に計上している事業について一部着工している。	『今後の課題と取り組み方針』 国道57号は瀬田拡幅区間で用地買収が進んでいない区間がある。地元からの要望について説明会を開催する予定である。県道については、地元から上がっている要望について県へはたらきかけていく。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
国、県との協議をしっかりとやって、問題点等があれば、早めに打ち合わせることが必要です。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■ 県道改良 ・国道443号（県管理）の国道57号ロータリーから空港方面は四車線になっていないので、通勤時間帯は渋滞がひどい。県に対して今の実態を強く言って地域の要望を伝えていただきたい。 ・県道瀬田竜田線の陣内交差点付近は見通しが悪い上に大型車の通過も多く危険な状態なので、県に対して改良事業促進をお願いしていただきたい。 ⇒県で事業化されているが、用地買収なども必要で進んでいない状況である。 ・県道瀬田竜田線の陣内交差点付近が改良されるまでに大型車の重量制限などの規制は検討できないか交渉をお願いしたい。 ⇒車両制限は主要地方道のため難しいと思われる。 ・県道202号線（矢護川大津線）と国道57号交差点の香梅東側は右折レーンがなく渋滞がひどいが、どのように対応しているか。 ⇒県には要望しており、継続して要望したい。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-3-2	県道負担金	道路整備課	県が管理する県道等の維持補修・改良について県に要望を行い、維持補修・改良に要した費用の10～15%を地元町が受益者負担として支出する。	10,000
4-3-2	各種期成会	道路整備課	大津都市圏では、都市圏内外の交通の円滑化を図るとともに、都市の骨組みを形成するための道路整備等を行っています。 事業主体が国・県となるため、各期成会を組織し要望活動を行っています。 この内、国道57号整備促進期成会の事務局を大津町で	471
				10,471

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 3	農林道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	道路整備課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	元田 正剛

基本事業を取り巻く現況と課題				
広域的幹線農免農道の整備はほぼ完了したが、支線の農道や耕作道については、未整備箇所が多くあります。大型化する農業機械の走行上の安全性確保や、農作業の安全性・効率性を確保するため、農道の拡幅や舗装整備が必要です。				

基本事業の目標				
農林道が整備され、農作業が効率よくできる。				

構成事務事業				
事務事業名	・土地改良事業での舗装整備（町の7割補助制度）			

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
30,568 千円	14,868 千円	11,060 千円	千円	千円	千円	11,060 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	農道舗装（土地改良事業）の実施地区数	目標値 単位:カ所					25	
		実績値	19	21	4	2		「農地・水保全管理支払交付金事業」により農道舗装が出来るようになったため、土地改良事業の実施地区は減少しています。
		達成度	76%	84.0%	16.0%	8.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 「農地・水保全管理支払交付金事業」により農道舗装が出来るようになったため、土地改良事業の実施地区は減少したが、農道舗装についてはこの事業により計画的に実施されるようになる。		『今後の課題と取り組み方針』 「農地・水保全管理支払交付金事業」を実施していない地区に対して、土地改良事業により農道舗装を実施している地区の事例紹介などが必要である。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
農林道の整備は、作業の効率化には有効であり、農林業経営の安定化にもつながるものである。また、農林道は地域の生活道路として利活用されており、地域貢献度の高い事業である。							
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-3-3	農道管理事業	道路整備課	農道・調整池の維持補修	2,389
4-3-3	緑資源幹線(大規模)林道事業	道路整備課	緑資源幹線林道事業により、未改良区間900mを除いて18年度に事業が完了し町に移管されたが、先行投資方式による負担金償還が受益者分5%発生し、本来林業関係の受益者負担と大津町の負担となる。この林道が当該地域における林業以外の産業の振興も目的とし、地域住民の生活道路としての機能も高いことから、町が受益者とし、大津町土地改良事業補助金交付規則により、土地改良区、行政区が実施する土地改良事業について、①国県補助事業は地元負担の70%補助、②地域が主体となる事業の場合は、事業費の70%を補助する。③土地改良区管内(大菊土地改良区が実施)の基幹施設事業の場合は、協定書に基づく割合による補助により農業の生産基幹線林道等が安全に通行できる状態を維持する。	6,262
4-3-3	土地改良事業補助金	道路整備課		800
4-3-3	林道管理事業	道路整備課		1,609
				11,060

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 3 - 4	都市計画道路の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 3	道路網の整備	担当者	中原 均

本町の都市計画道路は、7路線中6路線については改良済みですが、本町の地形が東西方向に谷の多い凸凹な地形であるため、南北を結ぶ道路が少ない。工業団地などへの通勤路線と住民の生活路線が交錯していることによる慢性的な交通渋滞の発生などの問題が生じています。そのため、県主体の西鶴中井迫線は平成23年度に開通しましたが、平成19年度着工の駅前楽善線については早期開通が必要です。

都市計画道路の7路線の整備状況は、市街地の外周道路である国道の2路線と三吉原北出口線及び土地区画整理事業で整備された駅南1号線、駅南2号線、南北に通る西鶴中井迫線等については整備済みですが、駅前楽善線の道路整備が遅れています。

基本事業の目標

都市計画道路は都市の骨格を形成し、渋滞の緩和、歩道整備、交差点改良による安全で快適に利用できる道路整備により、町民生活の向上や産業振興、中心市街地活性化が図られている。

構成事務事業

事務事業名	・都市計画道路駅前楽善線改良事業 ・町道門出2号線道路整備事業			
-------	--	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
201,240 千円	16,580 千円	573,155 千円	228,000 千円	337,700 千円	千円	7,455 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	都市計画道路駅前楽善線の事業進捗率	目標値 単位:%					100	
		実績値	20	50	70	90		平成25年に前年度平成24年3月補正による工事を着手し、路線の主要部分が完成、平成26年度末の開通に向けて進んでいる。
		達成度		50.0%	70.0%	90.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 都市計画道路7路線のうち、6路線が開通済みとなり、残り駅前楽善線が開通すれば朝夕の通勤の渋滞緩和がかなり改善される。	『今後の課題と取り組み方針』 平成24年補正により主要な改良工事が進み、平成26年度末の完成にむけて進んでいくが、用地の確保が100%では無いので、早急に取り組む必要がある。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
平成23年に西鶴中井迫線が開通となり、都市計画道路の未改良は駅前楽善線のみとなっている。西鶴中井迫線の開通により、本田技研工業、中核工業団地、美咲野団地からの乗用車の流れが天津バイパスにぬける事により、かなりの朝夕の渋滞緩和に貢献していると思われる。駅前楽善線が開通すれば南北を結ぶ道路が改良され、さらに交通環境が良くなり、また課題であった三吉原北出口線との交差点雨水氾濫の解消につながる。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-3-4	都市計画道路駅前楽善 線改良事業	都市計 画課	町の中心市街地を南北に結ぶ基幹的道路である駅前楽 善線の整備を行う。	538,055
4-3-4	門出2号線道路整備事業	都市計 画課	駅周辺整備計画の一環で、駅東側の道路整備として門出 2号線の整備を行う。	35,100
				573,155

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 4 - 1	駅周辺の交通システムの整備			
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課	
施策	4 - 4	公共交通の維持	担当者	中原 均	

基本事業を取り巻く現況と課題					
九州新幹線の全線開業や阿蘇くまもと空港へのシャトルバス運行開始などにより、JR肥後大津駅の公共交通拠点としての役割がますます高まることが予想されます。 平成23年に駅南口を開設し、町の玄関口である肥後大津駅周辺の利便性の向上、特に南側からのアクセス、路線バスロータリーによる交通機関の推進は急務であるとした。					

基本事業の目標					
平成23年に駅南口機能を持つビジターセンター、バスロータリーを整備し公共交通機関の連携を推進し、利便性の向上が図られた。今後駅の北側について、タクシー乗降場、駐輪場の整備を図り、駅利用者と地域との交流拡大を通じて町の活性化を図る。					

構成事務事業					
事務事業名	- 駅前広場整備事業 - 南口駅（ビジターセンター）建設事業 - 駅北口整備事業				

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
0 千円	0 千円	15,100 千円	6,000 千円	9,000 千円	千円	100 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	肥後大津駅の1日あたり利用者数	目標値 単位:人					5,000	
		実績値	3,800	3,861	3,900	4,500		駅南口開設、空港ライナーの利用等により急激に利用者が増大した。
		達成度		77.2%	78.0%	90.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 ビジターセンター開設、空港ライナー利用者増、また昨年は九州北部豪雨により阿蘇の一部区間が運休となり、バスに乗り込んで大津駅からＪＲを利用するなどにより駅利用者が大幅に増えた。	『今後の課題と取り組み方針』 南口駅、ビジターセンター、バスロータリー開設等により駅利用者が増え、一定の効果は出せた。今後は駅北口について、駐輪場、タクシー乗降場など整備を進めて行く。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
平成23年度にビジターセンター、バスロータリー等駅南口整備が完成し、駅利用者が大幅に増大し目標達成に向けて順調に進んでいる。しかし利用者は増えたものの町としての特色を生かした宣伝、PR等が不足している感があり、ビジネス、観光の利用者に対してのサービスが今後の課題となる。また駅北口の整備についても町の玄関口としての顔もあるため南口との関連を持たせた整備が必要である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■ ビジターセンター前の待機所の屋根改修（2-5-1『観光施設の整備』での意見） 施設の工事担当部署から管理担当部署への引継ぎができていない。屋根の改修は早く工事を始めていただきたい。 ⇒関係部署間の連絡は密にしていきたい。屋根の改修はビジターセンター側から屋根を伸ばす方向で県と協議をしている。（都市計画課回答）

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-4-1	生活路線維持費補助事業	総務課	赤字が出ているバス路線に対し、住民の通学、通院のための移動手段としてのバス路線を生活路線として位置付け、バス運行事業者に対し補助金を出して維持している。	39,800
4-4-1	乗合タクシー運行費補助事業	総務課	大津町内における公共交通空白地域(既存のバス停から500メートル以上離れている地域)について、交通手段を有しない者への交通手段確保として、事前予約制による乗合タクシーを運行する事業者に対し、補助金を交付す	6,000
				45,800

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 6 - 1	公営住宅の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	都市計画課
施策	4 - 6	住宅の整備	担当者	芳崎 優次

基本事業を取り巻く現況と課題

住宅に困窮している低額所得者世帯に対して、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備して低廉な家賃で賃貸するための住宅を整備します。

これからの公営住宅として、既存住宅を少子高齢化社会の到来に向けたユニバーサルデザインへの改善、耐震対策、住宅環境の向上など住宅の長寿命化による整備が求められています。また、今後の社会資本整備総合交付金事業として、公営住宅の公営住宅等長寿命化計画を作成して、当該計画により公営住宅の用途廃止、住宅改善、住宅建替えに分類することで、それぞれの団地を地域にあった住宅に住民の意見を聞きながら改修します。

現在、立石団地の屋根外壁等改修およびトイレ風呂の下水道接続などの改修を施工しています。また、あけぼの団地においては屋根外壁などの改修を計画しています。室内においてもバリアフリーなど住宅環境の整備が必要であるが、入居の状態では改修が困難であるため空き家になった時に重点的な改修を計画しています。

また、屋外の整備として、団地の駐車場整備および団地内通路の段差改修を施工しています。通路と駐車場を分離することで交通事故防止対策になります。最近の入居者の要望が多くなり早急な事業の完了が求められています。西嶽団地、北出口団地の側溝通路改修、駐車場整備も必要となっており、今後、入居者の意見も取り入れて改修する計画です。

基本事業の目標

既存公営住宅の長寿命化計画により住宅環境を整備し、入居者が健康で文化的な生活を営むことができる公営住宅の整備を目標にします。

構成事務事業

事務事業名	・公営住宅維持修繕 ・公営住宅等長寿命化計画 ・社会資本整備総合交付金事業
-------	---

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
84,315 千円	23,642 千円	106,263 千円	40,100 千円	37,300 千円	28,863 千円	千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
		単位:戸						
成果指標①	立石団地の改善戸数	目標値					88	住戸改修については平成24年度で完了した。
		実績値	88	50	38			
		達成度		56.8%	100.0%			
成果指標②	あけぼの団地の改善戸数	目標値					412	平成27年度より事業開始の予定
		実績値	0	0	0	0	60	
		達成度		0.0%	0.0%			
成果指標③	あけぼの団地駐車場の整備棟数	目標値					15	あけぼの団地の駐車場整備は平成26年度に完了させる。
		実績値	6	2	1	5	4	
		達成度	40.0%	33.3%	40.0%	73.3%		
成果指標④	あけぼの団地避難はしご改修棟数	目標値					15	平成25年度で完了させる。
		実績値	11	4	7	4	0	
		達成度		26.7%	73.3%	100.0%		
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 本年度は元気交付金により、計画を前倒しして施工している。	『今後の課題と取り組み方針』 平成27年度よりあけぼの団地の住棟改修を計画している。 平成26年度までにあけぼの団地以外の住宅の改修を完了させる。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
計画のとおり事業が進行している。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-6-1	室住宅の用途廃止(住宅 解体整備)	都市計 画課	平成15年度の公営住宅ストック総合活用計画において室 西団地、室東団地は町営住宅の用途廃止としている。 当該住宅は昭和35年度から昭和40年度の木造建築であ るため、かなり老朽化し住宅として適切に管理できなくな っている。そのため入居者に住宅の状況を説明して、転居 するようお願いしている。	1,500
4-6-1	あけぼの団地駐車場整 備	都市計 画課	町営住宅駐車場取扱要綱に基づく駐車場を交通事故の 防止のため整備する。 事業費は駐車場使用料及び駐車場整備交付金(国費)を あてる。	42,500
4-6-1	立石団地住宅改修	都市計 画課	当該住宅は昭和42年から昭和45年度に建設した住宅で、 下水道も整備してはなく、屋根は老朽化のため頻繁に雨 漏れしている。 建替建設までの期間延命化のため、下水道および屋根、 外壁を整備する。	21,100
4-6-1	公営住宅維持修繕費	都市計 画課	町営住宅の維持管理のための修繕費	12,000
4-6-1	団地外構整備	都市計 画課	西嶽団地・北出口団地・源場団地の側溝・通路を整備す る。	29,000
4-6-1	町営住宅消防施設改修	都市計 画課	町営住宅火災の予防及び早期発見並びに初期消火のた め、消防法の点検に基づき防火施設を改修整備する。	6,600
4-6-1	町営住宅戸別全面改修	都市計 画課	あけぼの団地、北出口団地、西嶽団地、立石団地は住戸 内の老朽化が進み、これまでの維持管理修繕では、少子 高齢化社会に対応できないため、地域住宅計画および長 寿命化計画交付金事業に基づき、住戸を全面改修するこ とで段差をなくし電気、給排水などを整備する。住戸の改 善については入居のままでは改善が困難なため住宅が空 家となった時、住戸ごとに住宅内の環境を整備する。	16,000
4-6-1	公営住宅等長寿命化計 画	都市計 画課	「公営住宅等長寿命化計画の策定について」平成21年3 月住宅局長通知により、これまで運用していた地域住宅 交付金事業より変更されました。平成22年度の事業より公 営住宅等長寿命化計画の策定が必要になった。地域住 宅交付金事業は平成25年度まで運用できるが、事務費 などが申請できないため、公営住宅等長寿命化計画を策	3,000
4-6-1	鍛冶の上団地西鶴団地 屋根・外壁塗装	都市計 画課	鍛冶の上団地は平成3年度の建設であり、建設後20年が 経過している。屋根はガルバニー鋼板葺きであるため、経 年劣化により錆が発生しているので塗装する。	82,000
				213,700

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 7 - 1	上水道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	環境保全課
施策	4 - 7	上下水道の整備	担当者	保々 英樹

基本事業を取り巻く現況と課題				
矢護川地区簡易水道では、水道施設の老朽化が懸念され、今後、高額な費用負担が予想されます。 また、真木地区では水道企業団から給水を受けていない世帯が多数あり、安全性が懸念されます。 矢護川地区簡易水道組合については、単独経営が困難であるため、平成23年10月までに大津菊陽水道企業団へ経営統合できるよう取り組んでいます。また、真木地区は水道企業団の給水区域であるが、約3分の2の世帯は未加入の状況であり、組合営の簡易水道事業による給水ということで、安全・安心な給水の点で不安が残ります。				

基本事業の目標				
安全な水道水がいつでも安心して使える。				

構成事務事業				
事務事業名	・大津菊陽水道企業団との協力体制確保 ・真木地区簡易水道組合と水道企業団の経営統合 ・簡易水道整備事業			

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
15,900 千円	15,900 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等								
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	町内の上水道普及率	目標値	単位:%				100	
		実績値	100	100	100	100		普及率は100%であるが、民営の簡易水道については、将来にわたっての安定経営に不安が残る。
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 上水道普及率は100%ですが、簡易水道組合営の給水世帯については、安定的な経営や安全安心な給水に不安も残るため、水道企業団への統合が望まれます。	『今後の課題と取り組み方針』 真木地区簡易水道組合は水道企業団の給水区域に含まれていますが、組合として単独経営を行われているため、将来の安定経営や安全安心な給水確保の観点から組合に対して企業団への経営統合の働きかけを行っていく必要があると考えています。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
矢護川地区簡易水道組合については、平成23年12月1日に大津菊陽水道企業団へ経営統合されたところです。しかし、真木地区簡易水道組合については、現在も単独経営であるため、将来の経営や安全面を考慮すると単独経営では心配な部分もあり、水道企業団との経営統合を検討するべきであると考えていますが、統合については地元の意見を十分聞きながら慎重に推進していく必要があります。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 7 - 2	下水道の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	下水道課
施策	4 - 7	上下水道の整備	担当者	荒木浩二

基本事業を取り巻く現況と課題				
下水道の役割は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全と、きれいな水環境を創り出すことにあり、安全かつ安心で快適な日常生活のために必要な施設です。近年、社会経済状況の変化と共に生活にゆとりや潤いを求める住民の意識が高まる中で、下水道はそれらの社会的要請に的確に対応していくため、より一層、計画的かつ効率的に推進することが課題となっています。また、下水道及び農業集落排水施設等、複数の污水处理施設を共同で利用する施設を整備することにより、効率的な污水处理施設整備を図る事業（MICS事業）に関する検討を行い、実施に向けた国土交通省との最終協議の段階です。 また、維持管理コストの縮減にむけた下水道副産物の有効利用を図るため、消化ガス発電の検討も併せて行います。				

基本事業の目標				
河川の水質浄化を図り快適で衛生的な生活環境を創り出す。				

構成事務事業						
事務事業名	・ 公共下水道事業 ・ 農業集落排水事業					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
712, 155 千円	233, 777 千円	612, 687 千円	163, 200 千円	151, 600 千円	73, 369 千円	224, 518 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	下水道の整備率	目標値	単位:%					77.0	実績値は平成24年度末の数値です。年次計画に基づき整備しています。
		実績値	68.7	70.4	78.3	85.3			
		達成度	89.2%	91.4%	100.0%	100.0%			
成果指標②	水洗化率	目標値	単位:%					95.0	実績値は平成24年度末の数値です。年次計画に基づき整備しています。
		実績値	88.5	93.4	77.5	75.0			
		達成度	93.16%	98.3%	81.6%	78.9%			
成果指標③	下水道利用者の不満度	目標値	単位:%					0	実績値は、下水道に接続して不満と思う人の割合です。（18歳以上住民対象アンケート）
		実績値	5.9	10.7	15.8	6.6			
		達成度		89.3%	84.2%	93.4%			
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 整備率については、平成27年度目標値を達成しているが、水洗化率においては目標値との差が大きい。	『今後の課題と取り組み方針』 より効率的な予算執行により計画的な整備を進めたい。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
整備率については、補助制度のあり方や大型補正もありましたが、その中で目標値に向け努力した結果、順調な伸びとなっている。水洗化率については、整備面積が大きくなり順次推進はしているものの目標値には届いておらず、目標値に向けなお一層の推進を図りたい。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■下水道受益者負担金 公共下水道の受益者負担金の算定は下水の量と関係なく宅地の面積で積算されるので不合理である。 ⇒公共下水道の負担金は敷地面積が広ければ高くなるが、農業集落排水と公共下水道の負担金の平均値は同じような額になるように試算して決定している。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-7-2	公共下水道事業(維持管理費)	下水道課	下水処理場、汚水中継ポンプ場の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	153,308
4-7-2	農業集落排水事業(維持管理費)	下水道課	農業集落排水事業の処理施設の維持管理	29,735
4-7-2	公共下水道費繰出金(基準内、基準外)	下水道課	一般会計から公共下水道特別会計への繰出し金	378,955
4-7-2	公共下水道(総務管理費)	下水道課	公共下水道の事務を行うための事務費	86,063
4-7-2	公共下水道(元金、利子)	下水道課	公共下水道整備に伴う起債償還(定時償還)元金、利子	628,009
4-7-2	公共下水道(事業費・管渠)	下水道課	公共下水道事業により、各家庭の敷地まで下水道管の布設を行い、各家庭から排出される汚水の処理を行う。下水道管渠及び圧送管・ポンプ施設の増設・改築工事を中長期的計画を推進する。	186,196
4-7-2	杉水地区農業集落排水事業	下水道課	農業集落排水事業(農村下水道事業)による管路敷設および処理施設整備	2,506
4-7-2	農業集落排水費繰出金(基準内、基準外)	下水道課	一般会計から農業集落排水特別会計への繰出金	105,933
4-7-2	農業集落排水事業(総務管理費)	下水道課	農業集落排水事業の事務を行うための事務費	2,501
4-7-2	農業集落排水事業(元金、利子)	下水道課	農業集落排水事業に伴う起債償還(定時償還)元金、利子	93,350
4-7-2	公共下水道(事業費)	下水道課	下水道終末処理場、汚水中継ポンプ場等の増設・改築・長寿命化工事を実施する。また、ミックス事業の検討。	150,000
4-7-2	公共下水道事業(維持管理)	下水道課	マンホールポンプの適正な維持管理・保守点検を行い、公共用水式の水質保全に努める。	13,175
				1,829,731